

事業名

地域で守り、拡げていく広浜鉄道今福線

事業費（予算額）：500,000 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：500,000 円）

P 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果
佐野・宇津井地区には、地域が誇る観光資源である広浜鉄道今福線の遺構があり、これを目指してくる観光客も年々増加傾向にある。この資源を維持、発展させ、より観光客を呼び込むことで地域の活性化につなげたいと考えた。そのためにはまず環境整備、後継者育成、地域の意識醸成が必要であった。

D 事業の概要
哲学の道と称する直線の先に今福線の観光名所の新旧合流地点があるが、車を U ターンする場所もなく、またイベントを行っても集える場所がなかったこと、更に周辺の草刈りを行う際に車両の出入りが困難な通路もあったことから今回この事業を計画することとした。

- ・ 時期は、平成 30 年度の伐開処理がしやすく、落葉する晩秋時期に実施することとした。
- ・ 作業は、新旧合流地点の伐開、埋め立て、併せて通路の一部の埋め立てを同時期に実施。
- ・ 佐野・宇津井地区まちづくり推進委員会今福線部会を中心とした同委員会メンバーにおいて実施。
- ・ 重機等作業には資格者を配置し安全な作業を徹底した。
- ・ 最終的に、哲学の道へ張り出した樹木の伐開についても併せて処理し見晴らしを良くした。

今後、観光客もさることながら、地元住民を招いての交流会の開催等イベント開催が行われるようになり各種拠点として活用する事が出来るようになった。これは、地元住民へ改めて今福線の素晴らしさに気づいてもらうための場所とすることができ、地元の意識を高めることも出来る。

C 課題の解決度合（10 段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

							○		
--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

・ 上記評価の理由

今回目標とした環境整備は出来たものの、新旧合流地点までは行くことが出来ないフェンスがあり、現状では今福線の良さが少し分からないところがある。

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

今回整備した場所については、交流会やイベントの開催、環境整備への地元住民の負担軽減につながったと判断されるが、今後人が集まると更にトイレなどの設備が必要となってくると思われ、これらを整備して行くことが必要不可欠と判断される。

